

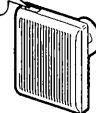
MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン トイレ／浴室用 取付工事説明書

工事店さま用

形名によって取扱いが異なりますので、
予め使用の形名をご確認ください。

形名表示位置



この製品の運転には
システム部材または
市販のスイッチが必要です。
スイッチの位置を確認してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みにになり、正しく安全に取付けてください。

- 電気工事は電気工事店に依頼してください。
- この製品はトイレまたは浴室用です。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 接続パイプは市販の塩化ビニル管、鋼板管のいずれかをご用意ください。
- 直接屋外に排気する場合、雨水浸入防止のためシステム部材（ウェザーカバーなど）を取付けてください。
- 外風の強い場所（地域・高層建築物）ではシャッターがばたつくことがありますので耐外風高性能フードを取付けることをおすすめします。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。

	形名	BL区分	グリル形状	電源仕様
トイレ用	V-08PSK4-BL V-08ZPK4-BL	便所用Ⅰ型	角形タテ格子グリル	電源プラグ
	V-08PSKS4-BL (電気式シャッター付)			
	V-08PPK4-BL	便所用Ⅱ型		
	V-08PSM4-BL	便所用Ⅰ型		
	V-08PPM4-BL	便所用Ⅱ型		
浴室用	V-12PPK4-BL V-12ZPK4-BL	浴室用Ⅰ型	角形タテ格子グリル	コード直付け
	V-12PPM4-BL		丸形パンチンググリル	
			丸形パンチンググリル	

優良住宅部品 (BL) について

- 当社の定める施工要領を逸脱しない据付工事に瑕疵が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BL マークの証紙の貼付（又は刻印等）がされている住宅部品については、財団法人ベターリビングのBL 保険制度により、保険金が支給されます。
- BL 保険制度については、財団法人ベターリビングのホームページ (<http://www.blhp.org/>) をご覧ください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。



警告

誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

警告

水ぬれ禁止	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。	指示に従う	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に換気扇を取付ける場合は、換気扇とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合、発火の原因。
分解禁止	●改造や分解はしない 火災・感電・けがの原因。 修理は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内」にご相談ください。		●交流 100V を使用する 直流や交流 200V を使用すると感電の原因。
			●内釜式風呂を据付けた浴室には取付けない (浴室用機種) 排気ガス逆流の原因。

注意

禁止	●直接炎があたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。	指示に従う	●取付けの際は手袋を着用する けがの原因。
浴室使用禁止	●浴室内に壁スイッチを設けない 感電の原因。		●部品の取付けは確実に 落下によるけがの原因。
指示に従う	●浴室など湿気の多い場所には取付けない (除く浴室用機種) 感電および故障の原因。		●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
指示に従う	●電気工事は電気工事店に依頼してください 感電の原因。		●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によるけがの原因。

お願い

- 高温 (40℃以上) になるところに取付けしないでください。
故障の原因
- アルミフレキシブルダクトへの取付けはしないでください。
振動の原因
- グリルから水滴が落ちて不快感にならない場所に取付けてください。(浴室用機種)
- システム部材 (ウェザーカバーなど) は壁厚にあったものを選んでください。
壁厚により取付けられないものがあります。
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。

取付方法

取付前の準備 V-08PSKS4-BLのみ

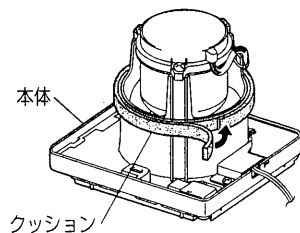
グリルを本体からはずす。

VP管・鋼板管の場合

付属のクッションは使用しません。

VU管の場合

本体パイプ部クッション上に付属のクッションをかさねて巻き付ける。(右図参照)



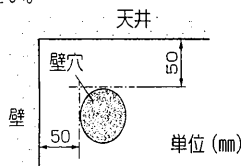
取付穴の準備

壁取付けの場合

壁穴へのパイプの固定

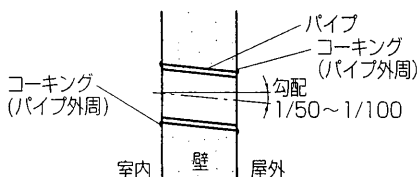
1. 取付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より 1800 mm 以上のところに取付けてください。



2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

- パイプと壁のすき間はコーキング処理をします。
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するため、パイプは室内壁面まで差し込みます。



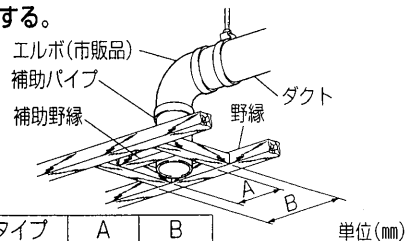
お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下り勾配をつけ固定してください。

天井取付けの場合

野縁工事とダクト配管

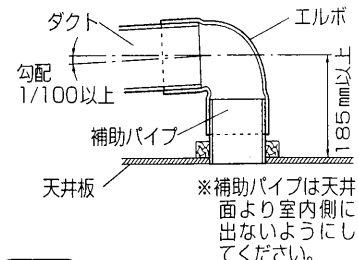
1. 下図のように野縁工事をし、ダクト配管をする。



タイプ	A	B
08タイプ	□120	□180
12タイプ	□170	□230

2. ダクトの中心から天井板まで 185 mm 以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。



お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に 1/100 以上の下り勾配をつけてください。

電気工事

警告

- 交流 100V を使用する
直流や交流 200V を使用すると感電の原因。

注意

- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行う
接続不良や誤った配線工事は、感電・火災の原因。
- 電気工事は電気工事に依頼する
感電の原因。

■ 専門の電気工事店さまへ依頼し、電気設備技術基準に基づいて行ってください。

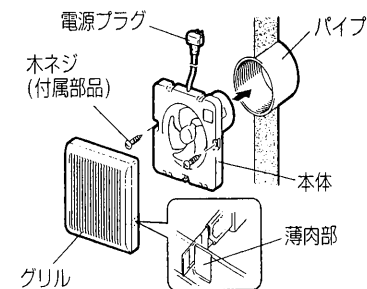
- 市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを組合わせて結線してください。
 - 防火ダンパー付フードを使用される場合、ダンパーが閉じるとき電源線をはさまないように配線してください。
 - 屋外に電源コンセントを設ける場合は雨に当たらないところに設けてください。
- ※浴室用の製品は電気用品取締法の二重絶縁構造に適合しており、アース工事が不要です。

電源プラグタイプの場合

1. 内線規定に基づくコンセントを屋内の換気扇の近くに設ける。

本体の取付け (壁取付け・天井取付けともに同様の取付け方です)

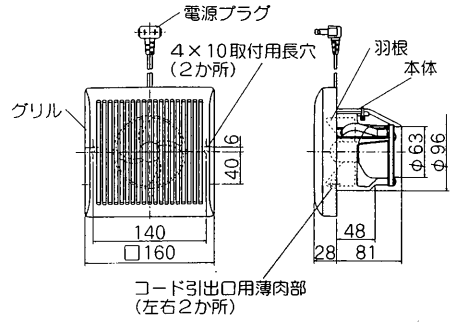
1. グリルを本体からはずす。
2. コード直付けタイプは結線をする。
 - 2芯ビニルキャブタイヤケーブルを単相 100V 電源に接続し、絶縁処理をします。
3. 本体の上下を確認してパイプに差し込み付属の木ネジで本体を固定する。
4. グリルを本体に取付ける。
 - グリルの方向を間違えないよう本体にはめ込みます。
 - 電源プラグを左右から出す場合は薄肉部を切り欠きます。
5. 電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント (単相 100V) に差し込む。
6. 以上の工事が終了した後、本体とグリルが確実に取付けられているか確認する。
7. 試運転を行う。



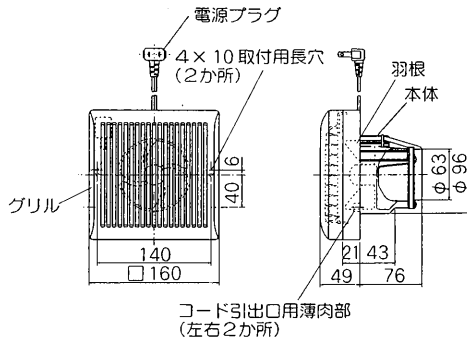
図はV-08PSK4-BLを示す。

外形寸法図

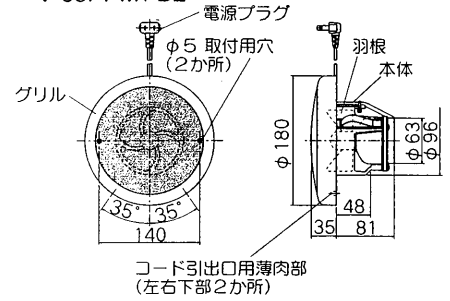
■ V-08PSK4-BL
V-08PPK4-BL



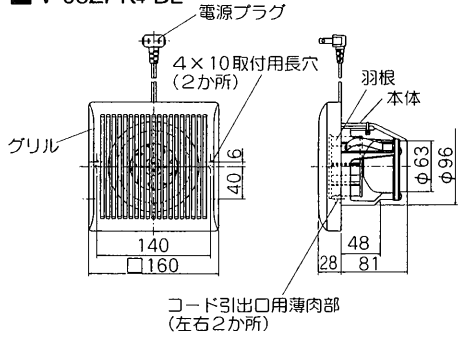
■ V-08PSKS4-BL (電気式シャッター付)



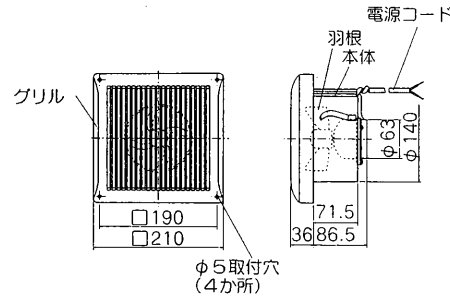
■ V-08PSM4-BL
V-08PPM4-BL



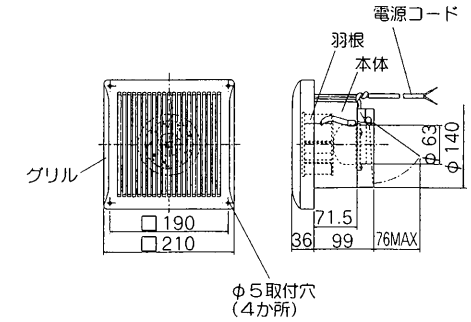
■ V-08ZPK4-BL



■ V-12PPK4-BL

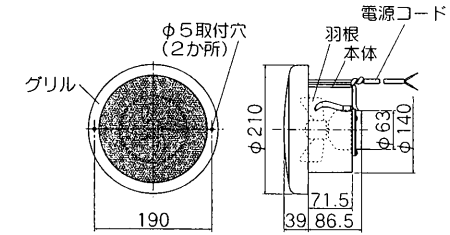


■ V-12ZPK4-BL



単位 (mm)

■ V-12PPM4-BL



付属部品

タイプ	木ネジ	クッション
08タイプ	2本	なし
電気式シャッター付	2本	1本
12タイプ	4本	なし
丸形	2本	なし

適用パイプ

タイプ	パイプ
08タイプ	●塩化ビニル管…VP、VU (4番管・呼び径φ100) ●鋼板管 (内径φ100)
12タイプ	●塩化ビニル管…VP、VU (6番管・呼び径φ150) ●鋼板管 (内径φ150)